

製品名: C9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07761**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	C9
別名	C9; Complement component C9
遺伝子 ID	735.0
SwissProt ID	P02748
免疫原	抗血清はヒト C9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

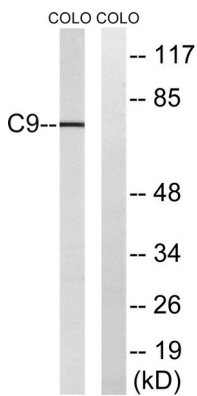
この遺伝子は補体系の最終構成要素をコードし、膜侵襲複合体 (MAC) の形成に関与する。MAC は細菌膜上に集合して孔を形成し、細菌膜の組織構造を破壊する。この遺伝子の変異は C9 構成要素欠損症を引き起こす。[RefSeq 提供、2009 年 2 月];疾患: C9 の欠陥

は C9 構成要素欠損症 (C9D) [MIM:120940]の原因となる。C9D 患者は、主に髄膜炎菌 (Neisseria meningitidis) による反復性細菌感染症に罹患する。機能: C9 は、膜侵襲複合体の形成に最後に付加される補体系の構成要素である。脂質二重層に入り込み、膜貫通チャンネルを形成できます。オンライン情報:C9 変異 db,PTM:トロンピンは因子 C9 を切断して C9a と C9b を生成します。類似性:補体 C6/C7/C8/C9 ファミリーに属します。類似性:1 つの EGF 様ドメインを含みます。類似性:1 つの LDL 受容体クラス A ドメインを含みます。類似性:1 つの MACPF ドメインを含みます。類似性:1 つの TSP タイプ 1 ドメインを含みます。

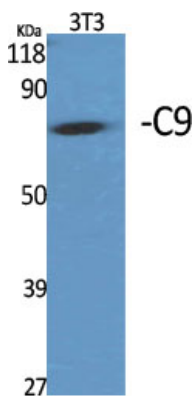
研究分野

補体および凝固カスケード、プリオン病、全身性エリテマトーデス、

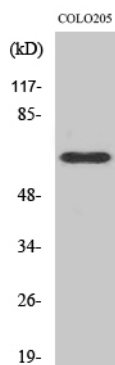
画像データ



COLO 細胞ライセートの C9 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



C9 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



C9 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析